

かがやく女性

- The Fukui Women's Foundation News Letter -

vol.53

2022年9月30日発行
(公財)ふくい女性財団

ふくいきらめきフェスティバル2022

輝く未来のために～多様性を認め合い、ともに進もう～

令和4(2022)年6月18日(土)
パレア若狭にて開催

記念講演

明日を紡ぐ女性たちへ

～『遠の眠りの』の作者が描く私らしく生きられる世とは！～

作家・翻訳家 谷崎 由依 氏



福井を舞台にした『遠の眠りの』について

『遠の眠りの』は、大正時代から昭和の初めぐらいにかけての福井を舞台に、綿密な調査と史実に基づいて書いた小説です。大正2年の福井の農村に生まれた「絵子」は、農村の女性の生きづらさをひしひしと感じて育ちます。ある日、両親と喧嘩になり、激高した父親に家を追い出されて人絹工場で働き始めます。その後、福井駅前に初めてできた百貨店の少女歌劇団でお話係・脚本係を務めるという話です。

農村の女性の生きづらさ

絵子が家を飛び出したきっかけが、弟との扱いの差なんですね。本を読むのがとても好きな絵子は5人きょうだいで、下に弟がいます。弟には肉や魚など晩御飯のお菜が多いのですが、絵子や妹には出されません。父親は、弟に家を継がせると決めているので、中学校に進学させるために弟には勉強させるのですが、農家の労働力としての絵子には、「お前は女だから勉強はしなくていいし、本なんかもろん読まなくていい。そんなことより手伝いをしろ」と言います。これらは、農家だった私の母親や母親の友人の話を元にしていますが、その友人はとても悲しかった過去の経験を、大きくなってから泣きながら母に語ってくれたそうです。

今も感じる格差、不公平感

人絹工場での友人で女工の朝子は、絵子に平塚らいてうの『青鞥』^{*}を貸しますが、それをきっかけに女性運動に興味を持っていきます。絵子は、与謝野晶子の詩「山の動く日来る。／かくいへども人われを信ぜじ。／山は姑く眠りしのみ。／その昔において／山は皆火に燃えて動きしものを。／されど、そは信ぜずともよし。／人よ、ああ、唯これを信ぜよ。／すべて眠りし女今ぞ目覚めて動くなる。」を何度も読み返して泣きたくなくなると言っています。『青鞥』について、私はこういう風には書きました。「『青鞥』は確かにひとつの運動であると思えた。この運動は、ではこの先どうなったのだろうか。彼女たちが“新しい女”を訴えて、それで世のなかの女たちは変わることができたのか。もしそうであるならば、こうしたことはすでに起こったこととして、世のなかで通過してきた古いものとして、目に映じるはずである。けれど

15年の歳月を経ても、絵子にはまったくあたらしい、新鮮な思想と感じられた。まるでここは関わりのないどこかの世界で誕生し、いまはじめて輸入されてきた、そんな何かであるように」。今、私が読んでも『青鞥』が新しいと感じる部分があります。『青鞥』が実現しなかった世の中というのは、100年近く経った今実現されているのでしょうか。絵子が感じたことと同じことを、現代の我々ですら感じるのではないかと思います。

さらに、これを福井で読むことについても意味があります。太平洋戦争直前のこの頃は、都市との格差が広がった時期で、農村の女性はますます取り残され、しんどいままでした。私は、自分の心の中に福井の女性たちのことがよぎります。私が高校まで育った福井、その中で生きていた自分、昔からそこに生きていた女性たち、今も福井で生きている友人の女性たち…。福井は共働き率が全国No.1 だけど、女性の家事・育児時間は一番長いなど、女性はとても大変です。福井に限らず、地方都市の女性はたくさんの不公平や不平等の中で生きざるを得ないと思うと、何か乗れない自分がいて、ずっとしこりのように感じながら、フェミニズムというものど付き合ってきたなど感じます。

「生き延びましょう。私たちが私らしく生きられる世が訪れるまで」

これは朝子が絵子に言うセリフです。「こんな馬鹿みたいな戦争が早く終わって、私たちの思想や考えをちゃんと表現できる世の中になるまで生きようね」という意味です。今、日本で、戦争は幸いにして起きていませんが、この世の中はある意味戦場で、この戦いのようなしんどい日々を何とか生き延びて、女性が自分の本当に生きたい生き方ができる世の中が訪れるまで頑張りましょう、と、昔の話を通して今のこの世の中を改めてみたい。そして生きる力を何とか紡いでいきたい。私も含めた子育て世代の女性の負担が非常に多い状況はいまだに変わっていません。もっともっと女性が生きやすい世の中になってほしいと、ひたすら思うばかりです。一方でジェンダーフリーの考え方は、若い人たちの中心に浸透しつつもあり、未来は暗くないとも感じます。あきらめずにいきましょう。

^{*}青鞥…明治44年から大正5年にかけて発行された文芸雑誌。
婦人解放運動を展開した。

ふくいきらめきフェスティバル2022



オープニング 美方高等学校吹奏楽部



若さが弾ける演奏でした！



映画上映「日日是好日」

【アンケートより】

- テーマが良かった。内容は難しいけど、ゆっくり見ることができ、リフレッシュになった。小さなことにも意識して、丁寧な時間も作りたかった。(30代・女性)
- 私達の毎日の生活も小さなことに目や耳を向け、小さなことにも何かを感じる日々を過ごしていきたいと思った。(60代・女性)



誰でも簡単にリフレッシュ！ チェアーヨガ体験

イスに座りながらできる、上体ひねり、腕、肩、足の筋力を使うヨガのポーズをユーモアを交えながら学びました。また、講師より日常生活の中でスマホを見る姿勢や仕事等で座る事が多いことから、できるだけ使っていない筋肉を伸ばすように心がけることを学びました。自分に合った筋力アップは即実行！



価値観をアップデート！令和時代の当たり前 ここまで変わった！男性の育休

講師のおとふあーざーの館直宏さんから、男性の育休が大きく変わった点や男性が育休取得するメリットを教えてくださいました。館さんは実際に育休を取得されており、男性の育休は企業・社員・家族に取ってメリットがある三方良しの制度と力強く訴えられ、参加者は大きく頷いていました。



福井梅で梅ジュースをつくろう

講師から、梅洗いから砂糖で密封するまでの行程について、注意事項を交えながら、美味しく完成する方法を教わりました。洗った梅は水気とヘタを取り、一日冷凍すれば速く完成する裏ワザを披露していただき、和気あいあいの楽しい講座になりました。また、梅に関する質疑応答の時間も、学ぶことの多い時間となりました。



理事長も挑戦！



プロに教わろう！ スマホで上手に写真を撮るコツ

身近な素敵な瞬間を上手に撮って残したい、でもなかなか上手く撮れない、ちょっとコツを教わりたいなあ、と思う参加者にむけて、講師からの確でわかりやすいアドバイスをいただき、すぐにスマホで撮影したくなるような楽しい講座でした。

スタッフ兼講師を担当しました！



基本だと思っていた機能を知らない方が意外にも多く、準備していた以上の情報を皆さんに知っていただくことができ嬉しかったです。スマホで背景をぼかすことも実はできるということは大きな発見になったと思います。

ふくいきらめきフェスティバル2022は、延べ400人弱の皆さまにご参加いただき、ともに男女共同参画社会の実現への思いを深めました。このフェスティバルを機に、互いに多様性を認め合い、輝く未来が描ける社会の実現へとつながっていくことを期待しています。



田村実行委員長挨拶



杉本知事祝辞

福井県男女共同参画社会づくり功労者知事表彰

石森 利栄様 (坂井市)
 平等 智恵様 (越前町)
 高原 昭子様 (越前町)
 野波 比瑳子様 (敦賀市)



※当日ご出席の石森様、平等様、野波様に表彰状が授与されました



片付けが楽しくなる！ 衣類のたたみ方講座

講師が、様々な衣類のたたみ方や効果的な収納を紹介したあと、参加者が実際に衣類のたたみ方に挑戦しました。

【アンケートより】

いつもの片付けではダメだと学びました。これからは立てる収納を実践しようと思います。(50代・女性)



カラフルでかわいい お花の水引細工でストラップ作り

カラフルな水引を「菜の花結び」という結び方でストラップ作りに挑戦しました。参加者の皆さんは「私にできるかしら」と不安に思いながらのスタートでしたが、講師の丁寧な指導で全員かわいい作品が完成し、気に入っていただけただけでした。



若狭塗箸の研ぎ出し体験

若狭塗箸の美しさは、幾重にも塗り重ねられた色とりどりの漆と、そのなかに塗り込められた貝や卵の殻、それらを研ぎ出す事で現れる層の重なりや絵柄です。参加者の皆さんが研ぎ出した塗箸は、まさに十人十色な絵柄となりました。



熊川宿でまち歩き

「若狭町かみなかの語り部」さんから、鯖街道として熊川宿や、信長が通った道、家康が泊まった寺のほか、古民家では提灯箱、檜台、囲炉裏跡等や、新しくできたお店を案内していただきました。

【アンケートより】

久しぶりの熊川宿でした。語り部のお話を聞いて大変良かったです。お店がたくさん増えていて、びっくりしました。また家族でも来たいと思いました。(50代・女性)



各種展示



おいしいもの販売

企画委員のみなさま
ありがとうございました！



きらめきフェスティバル実施にあたり、企画委員の皆様からいろいろなアイデアや企画の提案、さらには当日の運営にご協力いただきました。ありがとうございました。

令和4年度から、福井県が策定した第4次男女共同参画計画がスタートしました。

ふくい“しあわせ実感”パートナープラン

男女共同参画社会の実現は、社会全体で取り組むべき課題です。この計画は、県内の事業所・団体や県民一人ひとりが男女共同参画および女性活躍推進に取り組むための指針となるものです。

ふくい女性財団は、県からの事業委託により、行政の業務の一翼を担うとともに、賛助会員団体の皆様と協働・連携して計画を推進していきます。

計画の基本理念

福井の暮らしをより豊かに、みんなが「しあわせ」を実感

- 自分の「しあわせ」は、自分が選択
- 「がんばれ」から「楽しもう」へ
- 時間と心に「ゆとり」を
- 「安心」があるから「挑戦」できる
- 誰もがいつまでも居心地よく



分野別の方向性と「ふくい女性財団」の主な取り組み

家庭 みんなで楽しむライフスタイルの推進

「ゆとり時間」創出のため、家族での家事・育児のシェア促進や民間サービスを利用した家事の外部化を図ります。

暮らしの中の「ゆとり時間」の創出

- 女性の家事・育児に係る負担軽減

「ファミリーサービスクラブ事業」

ファミリーサービスクラブは、「会員相互の助け合い」により、仕事と育児の両立や社会参加を支援するため、地域に根ざして活動しています。

- 【場所】・敦賀ファミリーサービスクラブ
- ・鯖江地域ファミリーサービスクラブ

【サポート内容】

- 掃除、洗濯などの家事
- お子さんの預かり
- 通院のための付き添い

- 男性の「暮らし方・意識改革」の推進

- 新米パパ・ママ応援講座

夫婦・家族で家事を楽しむ共家事(トモカジ)の促進

- 新婚夫婦・新米パパ・ママの意識啓発

「新米パパ・ママ応援講座」

子どもとの触れ合いを通じて、子育て中の夫婦が家事・育児の協力について学び、考え、実践していくきっかけづくりを学ぶ講座を開催しています。これまで、防災や寝かしつけ、家族で楽しみながらのおもちゃの選び方や片付け収納のコツを学ぶ講座などを開催してきました。



親子で学ぶプチ防災
(2022年7月3日)

安心して子育て・介護ができる支援制度の充実

- 多様なつながりやサービスを活用した子育て世代の負担軽減

「チャイルドルームの運営」

女性活躍支援センターを通しての就職活動や、生活学習館・県立図書館・中小企業産業大学校を利用する際に、お子さん(未就学児)の一時預かりをしています。

- 地域社会による助け合いの推進

- 介護予防および介護支援の充実

「県域や地域で活躍する賛助会員団体の活動推進」

- 当財団の賛助会員である40の県域の女性団体や市町ネットワーク組織が、家庭や地域において、多様なつながりや「共家事」「共育児」「共介護」が当たり前となる社会づくりを推進
- ファミリーサービスクラブ事業
- ピアサポーターと連携した「シングルマザー」のためのピアサポートサロンの開催

- 男性の「暮らし方・意識改革」の推進



チャイルドルームの様子

仕事 多様な働き方、キャリアを自ら選択できる環境づくり

ライフイベントに応じた働き方を選択し、キャリアを継続できる環境を整備。キャリアアップを支援します。

企業における女性活躍の推進

- 女性がより活躍できる制度や環境づくりを推進
 - ・就職からキャリアアップまで総合支援

「ふくい女性活躍支援センター」

女性の“働きたい”を応援するため、仕事についての不安解消やキャリアアップの支援、子育てが一段落した女性の再就職、育児休業からの円滑な復帰などの支援をワンストップで行っています。

女性が活躍するためのヒントが得られる図書コーナーやキッズコーナーもあり、お子様連れでも気軽に利用でき、また、面接等の就職活動時にチャイルドルームを利用できます。

キャリア相談・キャリアアップ支援

保育所・子育て相談

県内全域の保育所情報を取り揃え、保育所探し、育児休業等からの復帰時の子育てに関する悩み相談に応じています。

就職相談・職業紹介、専門相談会

専門機関と連携し、ひとり親相談、福祉関係の就職相談、創業相談にも応じています。

出張就業相談会

敦賀市・小浜市(月1回)、勝山市・越前市(隔月1回)において、相談会を開催しています。

「キャリア・アカデミー」

次世代の女性リーダーを養成するため、リーダーに求められる資質や意欲向上を図るための研修会やワークショップを開催し、キャリアアップを支援しています。

「企業連携講座」

県の「ふくい女性活躍推進企業」を対象に、女性の活躍推進を目的に実施する研修会に、講師を無料で派遣しています。

- ・キャリアデザイン
- ・コーチング
- ・接遇スキルアップ
- ・ハラスメント防止
- ・ワーク・ライフ・バランス など

- 経営者等の意識改革

「女性リーダーサポート研修」

- ・女性の育成・管理職登用などについて、上司の意識改革やスキルアップを図るための講座を開催しています。
- ・女性に偏っている家事・育児の負担を軽減するため、男性社員を対象に、働くこと、家庭を営むこと、その両方を大切にすることなど、働く女性の家庭支援のための講座を開催しています。

- 女性活躍に取り組む企業の魅力発信

働く人のための「しあわせ働き方改革」の促進

- 企業の働き方改革の推進

- ・企業連携講座

「自らの成長を楽しむ」女性のキャリアアップ応援

- 女性のキャリアアップ研修

「キャリアアップ応援講座」

女性がステップアップしながら働き続けられるよう、キャリアアップに必要な知識と情報、コミュニケーション力やモチベーション等を向上させるスキルを学ぶ講座を開催しています。

- 女性のキャリア相談

キャリア相談・キャリアアップ支援

仕事を探す時や仕事をしている時に生じる不安や悩みの相談に応じています。

また、しっかり自己アピールできる履歴書・職務経歴書の作成を丁寧に指導しています。

働き女子のホンネカフェ

様々な立場の女性の意見を聞き、モヤモヤ解決の糸口を見つけてもらい、モチベーションの維持・向上を図るため、少人数でテーマに沿った本音を語り合う機会を、講座終了後等に設けています。

社外メンターとの交流会

県内で活躍している女性を「社外メンター」に委嘱し、キャリア相談利用者等の個別相談に応じたり、講座受講生等との交流会において、ロールモデルとして助言等を行ってもらう機会を設けています。



社外メンターとの交流会
(2022年9月9日)



ふくい女性活躍支援センター

女性の再就職、創業拡大支援

- 女性の再就職相談・セミナー

就職相談・職業紹介

ハローワークの求人情報、職業訓練の情報等が自由に閲覧でき、企業からの求人票の受理、求職者の希望の条件を伝えるなどした上で紹介状の交付や、就職後のフォローまで支援しています。

再就職支援セミナー・就職面接会



企業との交流会の様子
(2022年3月11日)

「ふくい女性活躍推進企業」や女性の雇用に積極的な企業と直接交流、面談を行う機会を設け、自分の希望する働き方に合った企業とつなげるよう支援しています。

再就職等チャレンジ支援セミナー

出産・育児・介護等で離職した女性が円滑に再就職できるよう、必要な知識や情報を学ぶためのセミナーを開催しています。

- 女性の創業拡大のための支援

- ・ふくい女性活躍支援センターにおける創業相談
(公財)ふくい産業支援センターと連携)

地域 あらゆる分野における参画拡大

多様な分野における女性の参画や挑戦を支援し、地域での仲間づくりを応援します。

女性の地域活動等への参画推進

●女性の多様なチャレンジを応援

「男女共同参画ポータルサイトの運営」

女性のチャレンジを支援するため、活躍する女性の人材情報やチャレンジに必要な情報を管理し、総合的に情報を発信

- 女性人材を発掘・登録し、ホームページで紹介
- あらゆる分野で女性が活躍・チャレンジできるよう、必要な情報をホームページ「チャレンジサイト」から発信
- 地域において活躍する賛助会員（団体・個人）を「女性のチャレンジ賞」に推薦

●自治会や子供会等、地域活動への女性参画促進

- 男女共同参画に功績のあった賛助会員（団体・個人）を「男女共同参画社会づくり功労者知事表彰」に推薦

「指導者養成講座」

地域において男女共同参画を推進する人材を育成するため、地域や組織のリーダーとして必要な知識や、積極的に行動する上で必要となる手法を学んでもらうための講座を開催しています。

昨年度は、ダイバーシティ（多様性）とサスティナブル（持続する）を共通テーマに、多様な性の理解を深めるためのLGBTQに関する講座、一人も取り残さない社会の実現のためのSDGsを学び・体験する講座等を行いました。今年度は、パートナーシップ制度や人生100年時代を生きるためのキャリアデザインについて考える講座などを予定しています。



SDGsの世界をゲームで体験
(2022年2月23日)

●性別による役割分担意識の見直し

- 男女共同参画・女性活躍に関する各種講座の開催

「ふくいきらめきフェスティバル」

毎年、6月の「男女共同参画月間」の記念行事として、県生活学習館（ユニー・アイふくい）と地域会場（2年度：坂井市、4年度：若狭町）において、隔年交互に開催し、男女共同参画社会づくりへの機運を高めています。



熊川宿でまち歩き



福井梅で梅ジュースをつくらう

政策・方針決定過程への女性の参画促進

県・市町の審議会等に女性登用の推進指導者養成講座等を通して、政策方針決定過程への参画に必要な知識・技能を提供する機会を設けていきます。

女性の「仲間づくり」や「つながり」をサポート

●女性のネットワークづくりを強化

「ふくいウイメンズ・オアシス」

コロナ禍において、仕事や子育て、心や身体など、女性が抱える様々な不安や悩みに寄り添い、「さまざまな思いを抱えた女性が集い、気持ちや経験、情報を分かち合う、心のオアシス」となるよう、生活学習館の2階に、昨年度新たに開設しました。

ピアサポートサロンの開催や女性総合相談や女性活躍支援センターとも連携して、悩みを抱える女性に、きめ細やかな支援を実施しています。

ピアサポートサロン

身近なテーマを設定し、人の話を否定しないという約束の下、少人数でざっくばらんに話し合う場を設けています。

“ひとりじゃない”と思えることを大切にしているこのサロンは、聴いているだけでも大丈夫です。専門家によるミニ講座を加えたサロンも用意しています。心に余裕をもつこと、新しい仲間と出会うこと、他者とのつながりを得ることなどをサポートしています。

- 当財団が企画・主催する「くるとり」
（@こことカラダ、@夫婦・家族など6分野）
- 「ピアサポーター」と連携して開催するサロン
- 地域や大学等へ出かけて実施するサロン



サロンの様子
くるとり@育休保活
(2021年8月26日)

「ふくいきらめきフェスティバル」

「女性団体・男女共同参画ネットワークの活動支援」

「地域連携講座・県民連携講座」

地域や各界各層において、男女共同参画が推進するよう、男女共同参画や女性活躍・ジェンダー平等に関する研修会等を開催する地域や県域で活躍する団体等に、講師を派遣しています。



地域連携講座「女性の活躍推進」
講師：後藤ひろみ氏
(2022年3月8日)

「女性団体支援事業」

男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めるため、賛助会員団体等が行う県民への啓発活動や情報発信、会員同士の交流、団体の組織強化のための研修会などに要する経費を助成しています。

「賛助会員団体交流事業」

情報交換会や会員のつどいを開催

未来の共生社会づくり 多様な選択を可能とする教育・学習の充実

人生のあらゆる段階で、性別にとらわれず「自分らしい生き方」を選択できるよう、男女共同参画の理解を促進します。

学校や家庭における男女共同参画教育の普及

「次世代育成セミナー」

家庭や社会に存在する固定的性別役割分担意識に捉われることなく、男女が共に自立し尊重する大切さを学び、進路や将来の職業、生き方を選択できるよう、男性の多い職業についている女性、女性の多い職業についている男性の体験談などを学ぶセミナーを、毎年4～6校程度の中学校で開催しています。



女性消防士の体験談
(2022年7月12日 武生第一中学校)

「教育連携講座」

学校や教育関係団体等が、生徒や保護者、教員等を対象に男女共同参画に関する研修会等に、講師を無料で派遣しています。

<テーマ例>

- ・デートDV
- ・DVが子どもにもたらす影響
- ・LGBTQ
- ・家族のあり方
- ・親子で楽しむキャリア教育など

●家庭における普及啓発

多様な職業選択の推進

「次世代育成セミナー」

「科学・技術者への招待セミナー」

高校生を対象に、性別にとらわれない進路選択と女子生徒の科学技術分野への興味を促すことを目的に、女性研究者・技術者による講演会や女性技術者と女子生徒の交流会を開催しています。



建築士との交流の様子
(2021年12月10日 丹生高校)

今年度は、丸岡および啓新高等学校で開催しますが、県教育委員会と連携して、県内の中学生に講演会の様子を配信する予定です。

若者・シニア世代のライフデザイン支援

「キャリア・カフェの開催」

女子大学生と企業で働く女性とが、結婚や子育てをしながら働き続けることについて意見交換を行うことで、女子大学生が自分自身のキャリアについて考える機会を提供しています。



福井大学でのカフェの様子

●男女参画学習事業

指導者養成講座や地域連携講座等を通じて、人生100年時代を有意義に過ごすためにシニア世代のライフデザインをテーマとした講座を開催していきます。

安全・安心の確保 人権の尊重と安全・安心な暮らしの確保

暴力などの人権侵害の根絶、生涯を通じた健康支援、多様な性的指向・自認への理解など安心して暮らせる社会づくりに取り組みます。

女性等に対する暴力の根絶

「女性総合相談事業」

配偶者暴力被害者支援センターとして、配偶者や交際相手からの暴力に悩んでいる方の相談に応じているほか、女性の様々な問題について相談を行うとともに、よりの確かなサポートが行えるよう、女性活躍支援センターやウイメンズ・オアシス、他の相談機関とも連携を図っています。

相談員による一般相談のほか、弁護士による法律相談や臨床心理士によるこころの相談も行っています。

「配偶者暴力被害者等自立支援事業」

寄附金を基に、生活面で困っているDV被害者等へ、自立のための緊急支援を行っています。

女性への寄り添い支援

「ふくいウイメンズ・オアシスの運営」

ピアサポートサロンの開催

経済的困窮者への生理用品の提供

経済的にお困りの方に、昼用・夜用ワンセットで生理用品を提供しています。「ふくいウイメンズ・オアシス」での提供のほか、女性活躍支援センターが実施している「出張就業相談会（敦賀市／小浜市／勝山市／越前市）」の各会場でも提供するとともに、困りごとを抱えた女性が各種相談支援窓口につながるよう支援しています。



提供している生理用品

みんなが安心して暮らせる社会づくり

●多様な性的指向・性自認への理解促進

「男女共同参画学習事業」

- ・指導者養成講座等において、性的マイノリティへの理解を促進するための講座を開催
- ・地域や県域で活動する団体、教育関係団体等が主催する研修会等に講師を派遣

●高齢者、障害者、外国人等が安心して暮らせる環境整備

生涯を通じた健康支援

「男女共同参画学習事業」

学校等教育関係団体等の研修会等へ講師を派遣し、性に関する教育を支援します。

祝 受賞 田村 洋子理事長

当財団理事長の田村洋子氏が、長年の功績が認められ、「令和4年度男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰」を受賞され、杉本福井県知事より伝達されました。



田村理事長より「(受賞が)若い女性の励みになったなうれしいです。今後も社会で女性がより一層活躍できるように活動していきたいです。」

ひとり親家庭のお子さんにランドセルを贈呈しました

県内事業者様から、当財団にランドセルのご寄付を6個いただき、既に、今年4月入学と来年4月入学予定のひとり親家庭のお子様にも、すべて贈呈させていただきました。

お礼のイラストが届きました!

かわいいイラストをいただいて、とてもほのぼのとした気持ちになり嬉しくなりました。ランドセルと一緒に楽しい思い出をいっぱい作ってくださいね。



寄附金募集

ふくい女性財団では、「DV被害者等自立支援基金」、「一般寄附金」の寄附を幅広く募集しています。お預かり致します寄附金は、当財団の運営に有効に活用させていただきます。ご寄附は賛助会費とは違い、期限などが特にありません。個人、企業、団体を問わずどなたからでも3,000円より受け付けております。

※当財団への寄附金は、税制上の優遇措置対象となります。
詳細▶<https://www.f-jhosei.or.jp/donation/>

令和4年度 寄附のご紹介 (令和4年9月1日現在)

「DV被害者等自立支援基金」 匿名希望1名 …… 30,000円
「一般寄附金」 匿名希望1名 …… 30,000円

令和4年度ふくい女性財団 役員紹介

職名	氏名	現職名
理事長	田村 洋子	福井県連合婦人会長
副理事長	西 芳子	福井県商工会女性部連合会長
	田中 香苗	ふくい女性ネットNEXT (株)そごう・西武福井店長
	○吉川 幸文	福井県地域戦略部長
	○吉岡 史郎	福井県生活学習館長
理事	小川 喜久子	J A福井県女性組織協議会長
	北山 富士子	(公社)福井県栄養士会長
	平等 智恵	(一財)福井県母子寡婦福祉連合会長
	天谷 早苗	(一社)ガールスカウト福井県連盟長
	時田 静香	越前町男女共同参画ネットワーク監事 越前町連合婦人会長
	森下 好子	前つるが男女共同参画ネットワーク会長
	平木 ひとみ	日本商運(株)代表取締役
	永森 幹朗	永森建設(株)代表取締役社長
	出蔵 加津代	元福井県生活学習館長 明新公民館長
	専務理事	江端 美喜子
監事	川崎 周市	元(一財)福井県労働者信用基金協会専務理事
	齋藤 啓子	元(公財)ふくい女性財団副理事長 さばえ男女共同参画ネットワーク会長
	伊与 登志雄	(株)福井新聞社 参与 編集局特別編集委員 兼 記者研修センター長 兼 論説委員
評議員	江守 直美	(公社)福井県看護協会会長
	川岸 道子	ラニイ福井貨物(株)総務グループ 次長
	澤崎 祥也	日華化学(株)取締役執行役員 管理部門長
	豊嶋 雅子	フクビ化学工業(株)取締役 執行役員 経営戦略本部管掌 兼 品質保証本部管掌
	長谷川 美香	福井大学医学部看護学科 コミュニティ看護学 教授
	三好 勝	税理士法人三好会計 代表社員税理士

○は新役員

賛助会員募集

「男女が共に家庭、職場、地域で活躍できる社会」を目指して、男女共同参画や女性の活躍推進のための研修会や意識啓発、情報収集と提供、賛助会員団体等への活動支援などを実施、開催しています。

こうした財団の趣旨に賛同し、応援し一緒に歩んでくださる団体・企業・個人の「賛助会員」を募集しています。

年会費 (すべて1口あたりの金額です)

- ・ 県域法人および団体 10,000円
- ・ 地域法人および団体 5,000円
- ・ 一般 (個人および企業) 3,000円

会員特典

- ・ 機関紙・研修案内送付
- ・ 有料講座の割引
- ・ 研修会等への優待
- ・ 女性団体支援事業による助成(団体会員のみ要審査)

かがやく女性 vol.53 編集・発行 公益財団法人ふくい女性財団

Fukui SDGs Partner



〒918-8135 福井市下六条町14-1 福井県生活学習館(ユー・アイ ふくい) 2階

次回は令和5年3月発行です

TEL : 0776-41-4254 / FAX : 0776-41-4260

✉ f-jhosei@f-jhosei.or.jp

🌐 <https://www.f-jhosei.or.jp/>

ふくい女性財団HP



ふくい女性財団各種SNS



令和4年度後期 ふくい女性財団開催講座のご案内

働く女性のキャリアアップ応援

キャリアアップ応援講座

対象：県内の働く女性

日時	テーマ	講師	定員
11月9日(水)13:00~16:00	仕事がかどる文章力向上講座	(株)ビジネスプラスサポート 麻野由佳氏	30名
12月8日(木)13:00~16:00	～クレーム初期対応～ 不満を満足に導く会話術	オフィスマインドルージュ 藤田由美子氏	30名
1月18日(水)13:30~16:30	チーム力を引きだすファシリテーション オ	(株)シェヘラザード 坂本祐央子氏	40名

女性リーダーサポート講座

定員：30名/回

日時	テーマ	講師
10月20日(木)13:30~16:30	管理職(性別問わず)対象 上司の意識改革・面談スキルアップ講座②	(株)これあらた代表取締役 富山佳代氏
11月18日(金)13:30~15:00	男性対象 働く女性のパートナーによる家庭支援講座	NPO法人tadaima!代表理事 三木智有氏

家事・育児参画

新米パパママ応援講座

対象：子育て中の夫婦とその子ども(0才~8才) 定員：20組

日時	テーマ	講師
10月15日(土)9:30~11:00	絵本の読み聞かせ、選び方アドバイス+美術館探検	県立図書館 子ども読書推進室 室長 田中智美氏 県立美術館 学芸員(主任) 佐々木美帆氏

※会場は県立美術館

男女パートナーシップ推進 テーマ：ポストコロナ~人生100年時代のライフプラン

指導者育成講座

対象：男女共同参画に関する地域・組織のリーダー 定員：30名/回

日時	テーマ	講師
10月23日(日)13:30~15:00	パートナーシップ制度・ファミリーシップ制度とは?	富山大学 人文学部 准教授 林 夏生氏
11月23日(祝・水)13:30~15:00	人生を楽しくするライフキャリア	歌うナレーター 岡田健志氏
2月11日(土)13:30~15:00	シニア世代のライフデザイン	仁愛女子短期大学 生活科学学科 学科長 教授 内山秀樹氏

女性活躍支援センター事業

女性のための再就職支援セミナー inあわら市

対象：就職を希望する県内在住の女性 定員：30名

日時	テーマ	講師
12月6日(火)13:00~16:10	ここから新しいスタート!『自分を知り自分を活かす』ための選択 ~「働く知識と最新情報」を手に入れよう~	社会保険労務士 森口美和子氏

ふくい女性活躍推進企業による就職面接会

対象：就職を希望する県内在住の女性 定員：30名

日時	内容	参加企業
2月8日(水)、9日(木) 9:30~12:00	会社PR・交流会・面接会	県内企業各10社程度

※2022年9月時点の情報です。講座は原則生活学習館で開催します。 **オ**：オンライン開催の講座

※講座内容、講座時期、講師は変更となる可能性があります。詳細はホームページをご覧ください。

※新型コロナウイルス感染状況によっては、オンライン会議システムを活用した開催に切り替える場合があります。予めご了承ください。

ふくい女性活躍支援センター 出張就業相談会

すべての「働きたい」女性のお仕事探しをサポートします！



ふくい女性活躍支援センターでは、仕事に関する不安解消やキャリアアップのための相談、保育所探しのお手伝いや子育ての悩み相談、就職相談や仕事の紹介、その後のアフターフォローまで、ワンストップで「働きたい」女性の支援を行っています。

当センターから遠方の皆様に、センターを利用していただけるよう、県内4会場で出張相談を実施しています。

敦賀会場 栗野公民館(敦賀市御名53-19) ※原則第3火曜日 10:00~15:00
10月18日、11月15日、12月20日、2023年1月17日、2月21日、3月28日

小浜会場 働く婦人の家(小浜市大手町4-1) ※原則第1水曜日 10:00~15:00
10月5日、11月2日、12月7日、2023年1月11日、2月1日、3月1日

勝山会場 猪野瀬まちづくり会館(勝山市北市7-4) ※原則奇数月第4水曜日 10:00~15:00
11月30日、2023年1月25日、3月22日

越前会場 市民プラザたけふ3階(越前市府中1-11-2) ※原則偶数月第4水曜日 10:00~15:00
10月26日、12月14日、2023年2月22日

お問い合わせ

ふくい女性活躍支援センター
0776-41-4244

[場 所] 福井県生活学習館(ユー・アイふくい) 福井市下六条町14-1
[休館日] 毎週月曜日・第3日曜日、祝日の翌日、年末年始(12/28~1/4)
[運 営] 公益財団法人ふくい女性財団(福井県生活学習館委託事業)
[共 催] 越前市、勝山市、敦賀市、小浜市



生理用品の 提供について

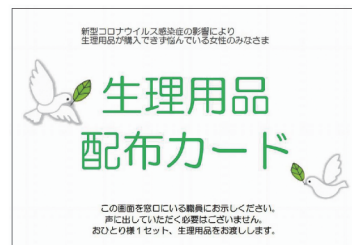
長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的に困窮して生理用品の用意ができずにお困りの方に、生理用品をお配りします。

[提供数] 1人あたり1セット(生理用ナプキン 昼用22枚入り、夜用10枚入り 各1個)

[提供場所] ①ふくいウイメンズ・オアシス(福井県生活学習館2階)
9:00~17:00(生活学習館の開館日、毎週月曜日等休館)
②出張就業相談会 ※会場、時間は上の記事をご覧ください。

[提供方法] ※提供にあたり、任意でアンケートのご協力をお願いします。

- ・配布窓口を設置された表示を指さす
- ・このチラシを配布窓口職員に提示する
- ・生活学習館内女性用トイレに置いてある「配布カード」を配布窓口職員に提示する
- ・HPの画面に表示されている配布カードをスマートフォン等で提供窓口職員に提示する



お問い合わせ

ふくいウイメンズ・オアシス
0776-89-1008

[場 所] 福井県生活学習館(ユー・アイふくい) 福井市下六条町14-1
[休館日] 毎週月曜日・第3日曜日、祝日の翌日、年末年始(12/28~1/4)
[運 営] 公益財団法人ふくい女性財団(福井県生活学習館委託事業)
[M a i l] w-oasis@f-jhosei.or.jp
[U R L] https://www.f-jhosei.or.jp/womens_oasis/

